



2009 年北九州マイスター松原昭夫氏

(株)三井ハイテック



『北九州マイスター』受賞風景

モーター金型組立技能者である三井ハイテックの松原昭夫氏が、第7回北九州マイスターに認定された。

北九州マイスター制度は、北九州市が2年に1回「モノづくり」に関わる高度技能者を「北九州マイスター」として認定し、表彰する制度である。

松原氏は、昭和49年当時の三井工作所に入社以来、金型組立に従事し、500本を超える金型刃物（パンチ・ダイ）を迅速且つ正確に組み立て、金型全体の累積精度を3ミクロン以内におさめる事ができる業界でもトップレベルの技能を保有している。

金型組立の仕事は、機械化できず、各製造現場で加工された部品を1つ1つ正確に手作業で組み立てる。

組立の中でもパンチの取り付けが一番難しく、パンチとダイの間に出来たミクロン単位の隙間（クリアランス）が、偏っていると正確に製品を打抜くことが出来ない。

松原氏は、パンチとダイの間に和紙を挟み、和紙の切断面に出たわずかな繊維を見て、クリアランスのバランスを判断し、位置ズレがあった場合は、指先の感覚だけで、ミクロン単位の調整を行う技能を得意としている。また、金型メンテナンスやプレス機にも精通した稀にみる技能者で、ハイブリッドカーに搭載する駆動用モーターおよび発電機用モーターの鉄心打抜き用金型の開発において、試

作段階からプロジェクトメンバーに抜擢され、金型組立部門の中心的存在として活躍、量産化を成功させた実績がある。

その卓越した技能を次代に継承し、地域産業の振興に貢献するための活動も支援している。

これで当社からの北九州マイスター認定者は、名誉マイスター（三井ハイテック創業者：三井孝昭）を含めて5名となった。



『北九州マイスター』祝賀会風景